

## KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室[メールまたは電話])

※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
リスクマネジメント要論		Z 165	1 単位	1 学期	ハイフレックス
Essentials of risk management					
科目分野		課程領域			
		イノベーションマネジメント共通科目			
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
伊藤 俊幸	-	メールアポイントメントにて随時			

### 関連している科目(履修推奨科目)

リスクマネジメント特論	
-------------	--

### 授業の概要と到達目標

#### 授業の主題と概要

大企業では従来の危機管理部門を発展させ、リスクマネジメントに特化した専門部署をおくところも多くなってきた。一方、中小企業では「リスクマネジメントを担当する専門部署がある」は3.9%、「担当部署なし」が40.4%となっており、その体制が十分に整っていないのが現状である。本講は、リスクマネジメントについて深くとりくんだことのない受講者を対象として、リスクマネジメントの必要性や基本的な考え方を学ぶ。

#### 到達(修得)目標

講義とケーススタディ・演習を通じて、受講者自身の「リスクマネジメント基礎力の向上」を目指す。

#### 受講対象者

イノベーションマネジメント専攻の全受講生

### 履修上の注意事項やアドバイス

★出席は極めて重要

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

### コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務	○	Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	○
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	○
Y6: 標準化	○	Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	○
		Z7: リーダーシップ力	○	X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	○
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

### プラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	リスクマネジメント協会公認資料	講義	PPT
2	グループ討論	ケーススタディ	事前配布
3	シート作成	演習	当日配布
4			
5			
6			
7			
8			当

評価の方法		
(総合評価項目と割合)	評価の要点	
出席・受講態度	10%	クラス貢献ではクラスでの発言の量と質を加味する。発言がなければ当然、不可となるので注意のこと。ディスカッションや討議での的確な発言内容を評価する。毎回、事務室より出席簿を準備する。
クラス貢献／討議・ディスカッション	40%	
レポートの提出	50%	
<b>合計</b>	<b>100%</b>	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
<b>テキスト</b> (購入が必要)	必要な資料を配布する。	
<b>参考図書</b> (購入は任意・講師推奨)		
参考URL		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	リスクマネジメントの必要性		伊藤	180分
	イベント	グループ討議		
3.4	リスクマネジメントの基本 リスクの考え方 リスクの認識 リスクの分析と評価		伊藤	180分
	イベント	グループ討議 リスクマップ・リスクマトリックスの作成		
5.6	リスクへの対応 リスクコントロール リスクファイナンス モニタリングと評価、改善		伊藤	180分
	イベント	ケーススタディ(雪印乳業食中毒事件)リスクチェーン作成演習		
7.8	クライシスマネジメント BCP		伊藤	180分
	イベント	ケーススタディ(大和銀行NY支店巨額損失事件)		

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容、スケジュール、講義形式は、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。